

日本地域学会ニューズレター

2019年 no.2

令和元年 8月 30日

目 次

I.	副会長挨拶	...2
II.	日本地域学会第56回年次大会（令和元年9月13～15日） 開催について	...3
III.	令和元年度日本地域学会総会（令和元年9月14日） 出席のお願い	...4
IV.	理事会報告 平成31年度第1回—令和元年度第4回理事会	...4
V.	委員会報告	...7
	1. 名誉会員推薦委員会（令和元年度第1回についての報告）	
	2. 学会賞選考委員会（受賞者の紹介）	
	3. 機関誌編集委員会（第62-63回についての報告）	
	第56回年次大会準備委員会からのお知らせ	...9
	第56回年次大会の会場（久留米大学）案内	
	交通アクセス	
	久留米大学御井キャンパスマップ	
	セッション・総会・シンポジウム会場配置図	
	『地域学研究』バックナンバー申込み	...12

I. 副会長挨拶

日本地域学会
副会長 徳永澄憲

はじめに

昨年12月に開催されました新理事会においてご推薦いただき、2019・2020年度の副会長を務めさせていただくことになりました。会長の高橋秀悦先生にご指導いただきながら、微力ながら本学会のより一層の発展に尽力したいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。

私事になりますが、私が本格的に地域科学に取り組み始めたのは、大学教員でありながら、地域科学の創始者W.アイサード教授が開設したペンシルベニア大学大学院地域科学研究科に留学してからです。その当時、W.アイサード先生はまだ現役で教えていましたし、藤田昌久教授、T.スミス教授及びR.ミラー教授等、錚々たる教授陣が揃っていました。最初に驚かされたのが、Regional Science 622での博学なアイサード先生の地域科学に対する熱い思いの講義と分厚いテキスト(4冊分で2500頁)でした。この講義は、まさに地域科学総論とも呼ぶに相応しい講義で、地域科学の多様な分野(交通、都市・地域経済、農業等)の地域問題を解決するために、彼自身が実際のプロジェクトで開発し利用した実践的な多様な手法(統合多地域モデル、立地モデル、地域産業連関モデル、地域LPアプローチ、産業複合体アプローチ、重力モデルなど)を実例に基づき、我々大学院生に問いかけながら講義してくれたことを30数年経た今も鮮明に思い出します。ペン大で博士号を取得後は、多様な研究分野と実践的な研究手法を持つ地域科学の魅力に取りつかれ、日本地域学会やPRSCO、NARSCやWRSAの年次大会、さらに2~4年に一度の世界大会にできる限り出席し研究報告をするように心がけてきました。

会員の皆様をご承知のように日本地域学会は、現在、経済学、地理学、交通計画学、社会学、環境学、農学、都市計画学などの多様な分野からなる研究者や実務家から構成され、その1000名を超える会員によって地域科学に関する総合的で学際的な学術研究が進められています。特に、本学会が他学会と比べて誇れる点は、国際地域学会(RSAI)の会長を務められた河野先生と氷鉋先生、及び歴代会長のご尽力により組織面と研究面とでグロー

バル化が著しく進展している点です。1つは、本学会が国際地域学会(RSAI, Regional Science Association International)の傘下にあり、日本だけにとどまらず世界の会員と研究交流ができる点です。1954年に創設されたRSAIは北米地域学会(NARSC, The North American Regional Science Council)、欧州地域学会(ERSA, The European Regional Science Association)、環太平洋地域学会(PRSCO, The Pacific Regional Science Conference Organization)、及びラテンアメリカ地域学会(LARSA, The Latin America Regional Science Association)の4つのメガ地域学会から構成され、特に日本地域学会はPRSCOにおいて研究面・組織面で中心的な役割を果たしており、毎年多くの本学会員がPRSCOに参加し積極的に研究報告を行っています。もちろん、本学会の会員は、PRSCO以外の国際地域学会の年次大会や2年に一度の世界大会にも参加し、最新の地域科学の研究動向を探索するとともに、世界の会員と研究面で切磋琢磨し、世界に情報を発信しています。もう1つは、既に本学会ニューズレターの前号で高橋会長が述べられているように、氷鉋先生の強力なリーダーシップの下に2017年に英文機関紙*Asia-Pacific Journal of Regional Science*(APJRS)がSpringerから刊行されたことと、同じくSpringerから地域科学の英文専門書シリーズ*New Frontiers in Regional Science: Asian Perspective*が刊行されたことにより、英語での研究成果の刊行が可能になった点です。研究成果を英文誌に投稿し、それを蓄積し改訂し専門書を刊行できるというアカデミックスタイルが確立されていることは、日本地域学会の会員にとって極めて研究上の利点であると思われま

す。情報通信や交通手段の革命的な発達やメガ自由貿易協定(FTA)の出現等により、経済・経営のグローバル化が進展する一方で、米国と中国の貿易戦争等のブロック経済化も進んでおり新たなグローバル問題が生まれています。一方、国内では少子高齢化社会やAIに代表される第4次産業革命を迎えると共に、海外から多数の訪日外国人や移民を受け入れ、新たな地域問題が発生しています。グローバルとローカルな視点を持つ地域科学にとって、これらの新しい難問は新しい飛躍の種であり、新たな分析手法の開発が求められています。地域科学を創設したアイサード先生の意気込みに立ち戻り、地域科学の新たな地平を切り拓くことが、日本地域学会のさら

なる使命であると思われま。副会長として微力ながら日本地域学会の発展に尽力する所存です。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、副会長の挨拶とさせていただきます。

II. 日本地域学会第 56 回年次大会

令和元年 9 月 13 日(金)～15 日(日)

第 56 回年次大会が久留米大学において下記の通り開催されます。

記

開催日:2019 年 9 月 13 日(金)～15 日(日)

開催校:久留米大学

会 場:久留米大学御井キャンパス

住 所:〒839-8502 福岡県久留米市御井町 1635

(大会実行委員会)

委員長 秋本耕二(久留米大学経済学部)

副委員 浅見良露(久留米大学経済学部)

委員 境和彦(久留米大学経済学部)

委員 加藤淳一(久留米大学商学部)

委員 野崎竜太郎(久留米大学経済学部)

委員 中村大輔(中央大学国際経営学部)

委員 高島伸幸(九州大学エネルギー研究教育機構)

(大会事務局)

〒839-8502 久留米大学経済学部経済学科 秋本耕二研究室(久留米市御井町 1635)

(大会実行委員会メール)

jsrsai2019@gmail.com

(大会情報)

<https://sites.google.com/view/jsrsai2019/>

(日本地域学会・日本不動産学会共催 国際シンポジウム)

日時:2019 年 9 月 13 日(金) 9:00～11:00

場所:久留米大学御井キャンパス 500 号館 51A 教室

テーマ:『Territory, Tourism, and Sustainable Development(地域、ツーリズムおよび持続可能な発展)』

(公開シンポジウム)

日時:2019 年 9 月 14 日(土)15:00～17:50

場所:久留米大学御井キャンパス 御井本館 1 階 11A 教室

テーマ:『河川流域における地域づくりと経済の活性化』

(参加費等)

参加費:一般会員	5,000 円
学生会員	3,000 円
非会員	10,000 円

※国際シンポジウム,公開シンポジウムのみの参加は無料。

(申込み方法)

日本地域学会ホームページに掲載されております「年次大会申込フォーム」よりお申し込みください。画面上の受付締切は 8 月 20 日(火)となっておりますが,まだご登録がお済みでない方は早急にお申込み下さい。座長,発表者,討論者を含め全ての参加者に申込みが必要です。なお総会(14 日 13 時 15 分を予定)を欠席される場合は,委任状フォームの記入もお願いいたします。

注意事項:

- 1) WEB 等を活用してホテル確保をお願い致します。会場は,JR 九大本線「久留米大学駅前」下車,徒歩 5 分。また,西鉄バス「朝妻」バス停下車,徒歩 5 分です。西鉄久留米駅近辺のホテルが便利です。
- 2) 発表方法
各自で PC をご準備ください。各会場には VGA 入力端子が設置されており,VGA ケーブルを準備します。各自,必要に応じて,VGA 換アダプタ等(ex. HDMI 端子のみの PC を持ち込まれる場合等)をご準備ください。
- 3) アブストラクト,レジュメなどは,学会の HP で公開中です。
URL:<http://jsrsai.jp/ja/>

Ⅲ. 令和元年度日本地域学会総会

令和元年 9 月 14 日(土)

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 高橋 秀悦

本年度総会を下記要領で開催致しますのでご出席ください。なお、欠席される場合には日本地域学会ホームページに掲載されております「年次大会申込フォーム」より、委任状をご提出下さい。

記

日時: 令和元年 9 月 14 日(土) 13:15-14:50

場所: 久留米大学御井キャンパス 御井本館 2 階 12A 教室

総会次第

- 1) 開会の辞
- 2) 会長挨拶
- 3) 議題
 - (1) 新入会員・退会希望者の承認
 - (2) 平成 30 年度の事業報告の承認
 - (3) 平成 30 年度の収支決算の承認
 - (4) 令和 2 年度の事業計画の承認
 - (5) 令和元(平成 31)年度の収支予算(修正案)の承認
 - (6) 令和 2 年度の収支予算の承認
 - (7) 名誉会員の承認
 - (8) 第 57 回(2020 年) 年次大会の開催地
開催校等の承認
 - (9) 第 58 回(2021 年) 年次大会の開催地
開催校等の取扱いの承認
 - (10) その他
- 4) 報告
 - (1) 新入会員キャンペーンの継続
 - (2) 『地域学研究(第 49 巻)』の編集
 - (3) RSAI の動向
 - (4) PRSCO の動向
 - (5) その他
- 5) 学会賞授与式

(1) 選考経過報告

(2) 学会賞授与(受賞者はⅣ. 委員会報告に別掲)

(3) 受賞者挨拶

6) その他

7) 閉会の辞

以上

Ⅳ. 理事会報告

令和元年度 日本地域学会 第 1 回理事会

日時: 平成 31 年 4 月 20 日(土) 13:00-15:00

場所: 学術総合センター 1 階特別会議室 102・103

出席者: 朝日, 浅見, 石橋, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 佐々木, 洪澤, 鈴木, 高橋, 多和田, 徳永, 野崎(謙), 氷鮑, 細江, 松本, 水野谷, 三友, の各理事(ただし, 阿部, 内田, 斉藤, 櫻井, 高野, 高橋, 戸田, 福井, 正岡, 柳原, 吉田の各理事より委任状付託; 以上理事 29 名出席); オブザーバとして河野顧問, 酒井学会賞選考委員長, 臼井名誉会員推薦委員長, 秋本 2019 年度大会実行委員長, 小川, 内藤, 野崎(乃), 黛, 森岡の各幹事; 川本事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より, 個人会員(12 名)の入会希望と個人会員(26 名)の退会希望があった旨報告があり, これを審議した結果, 総会に諮る事を諒承された。この結果, 正会員 1,023 名, 法人会員 6 団体となった。

2. 平成 30 年度決算(案)の審議と承認

水野谷総務担当常任理事より, 平成 30 年度決算(案)について説明があり, これを諒承。鐘ヶ江理事より PRSCO 準備金の次年度に繰り越しについて説明があり, これを諒承。

3. 令和元(平成 31)年度予算(修正案)の審議と承認

水野谷総務担当常任理事より, 令和元(平成 31)年度予算(修正案)の修正について説明があり, これを諒承。

4. 令和 2 年度予算の審議と承認

水野谷総務担当常任理事より, 令和 2 年度予算

について説明があり,これを諒承。

5. 平成 30 年度事業報告

水野谷総務担当常任理事より,平成 30 年度事業について報告があり,これを諒承。

6. 令和 2 年度事業計画

水野谷総務担当常任理事より,令和 2 年度事業計画について説明があり,これを諒承。

7. 第 56 回(2019 年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

水野谷総務担当常任理事より第 56 回(2019 年)年次大会について事務局からの説明があり,これを諒承。

久留米大学の秋本大会実行委員長より第 56 回(2019 年)年次大会について説明があり,これを諒承。

8. 第 57 回(2020 年)年次大会について

水野谷総務担当常任理事より第 57 回(2020 年)年次大会は 10 月に東日本の大学で開催することで交渉中の旨説明があり,次回の理事会までに決定することを諒承。

9. ニュースレターへの入退会員の記載について

水野谷総務担当常任理事より,ニュースレターへの会員情報の掲載について意見収集がされた。ホームページ上でのパスワード設定による公開等を含め,今後対応を協議することを諒承。

10. 災害割引について

石橋理事より,自然災害発生時の会費規定と年次大会規定について説明があり,これを諒承。

11. 事務局のインターネット利用について

水野谷総務担当常任理事より,事務局でのネットワーク利用に関しモバイルのネットワークルーター導入の旨が提案され,これを諒承。

12. 『地域学研究』セット販売の推進

高橋会長より,『地域学研究』セット販売について説明があり,これを諒承。

13. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

高橋会長より新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり,これを諒承。

14. その他

水野谷総務担当常任理事より,資産評価学会からの後援名義使用依頼について説明があり,これを

諒承。

報告事項

1) 機関誌編集委員会報告

多和田機関誌編集委員長より,『地域学研究』49 巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

2) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鮑企画担当理事より,“Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)”の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

3) 第 1 回学会賞優秀発表賞選考委員会報告

酒井学会賞選考委員長より,第 1 回学会賞優秀発表賞選考委員会における最優秀発表賞選考結果について報告があった。

4) 第 1 回学会賞選考委員会報告

酒井学会賞選考委員長より,第 1 回学会賞選考委員会における各賞選考状況について報告があった。

5) RSAI の動向

渋澤理事より,RSAI の動向について報告があった。

6) PRSCO の動向

・PRSCO 事務局長選出の件

渋澤理事より,選出者の検討についての報告がされた。

渋澤理事より,PRSCO の動向について報告があった。

7) 第 10 回(平成 31 年度(2019 年度))日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について

水野谷総務担当常任理事より,育志賞受賞候補者の推薦についての説明があった。

8) その他

特に無し

以上

令和元年度 日本地域学会 第 2 回理事会(持回り)

日時:令和元年 5 月 27 日(月) 15:00

議題:千葉商科大学主催 第 6 回全国高校生「環境スピーチコンテスト」

後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し,

承認が得られた。

令和元年度 日本地域学会 第3回理事会(持回り)

日時:令和元年6月3日(月) 15:00

議題:資産評価政策学 2019年度総会シンポジウム「エリマネジムの資産等に与える効果」

後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し、承認が得られた。

令和元年度 日本地域学会 第4回理事会

日時:令和元年6月16日(日) 13:00-15:00

場所:学術総合センター 1階特別会議室 102・103

出席者:朝日,石橋,鐘ヶ江,木南(莉),國光,櫻井,佐々木,渋澤,鈴木,高橋,徳永,戸田,氷鮑,水野谷の各理事(ただし,浅見,阿部,内田,斎藤,櫻井,野崎(謙),福井,正岡,松本,三友の各理事より委任状付託;以上理事24名出席);オブザーバとして臼井名誉会員推薦委員長,河野顧問,酒井学会賞選考委員長,三橋顧問,小川,野崎(乃),黛,森岡の各幹事;川本事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より,個人会員(22名)の入会希望と個人会員(3名)の退会希望,名誉会員の鈴木多加史先生のご逝去の旨報告があり,これを審議した結果,総会に諮る事を諒承された。この結果,正会員1,041名,法人会員6団体となった。

2. 平成30年度決算(案)の修正について

櫻井財務担当常任理事より,平成30年度決算(案)について説明があり,これを諒承。

3. 令和元(平成31)年度予算(修正案)の修正について

櫻井財務担当常任理事より,令和元(平成31)年度(修正案)の修正について説明があり,これを諒承。

4. 令和2年度予算(案)の修正について

櫻井財務担当常任理事より,令和2年度予算(案)の修正について説明があり,これを諒承。

5. 第56回(2019年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

水野谷総務担当常任理事より第56回(2019年)年次大会について事務局からの説明があり,これを

諒承。

久留米大学の秋本大会実行委員長より第56回(2019年)年次大会について説明があり,これを諒承。

高橋会長より決定していない座長および討論者を検討することについて依頼があった。

6. 第57回(2020年)年次大会準備の進捗状況

水野谷総務担当常任理事より第57回(2020年)年次大会は東洋大学で開催が決定したことが説明され,これを諒承。

東洋大学の佐々木理事より大会実施について,9月中旬または下旬の2つの日程案で検討との説明があった。

7. 『地域学研究』セット販売の推進

高橋会長より,『地域学研究』セット販売について説明があり,これを諒承。

8. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

高橋会長より新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり,これを諒承。

9. PRSCO 事務局長選出の件

氷鮑企画担当理事よりPRSCO事務局長選出及び,予算措置の検討について提案がなされ,これを諒承。

10. その他

特に無し

報告事項

1) 令和元年度理事会(持回り)第2回,第3回

水野谷総務担当常任理事より,令和元年度理事会(持回り)第2回,第3回について報告があった。

2) 名誉会員推薦委員会報告

臼井名誉会員推薦委員長より,名誉委員の推薦について報告があった。

3) 令和元年度第2回学会賞選考委員会報告

酒井学会賞選考委員長より,第2回学会賞学位論文賞選考について報告があった。

4) 第63回機関誌編集委員会報告

水野谷総務担当常任理事より,『地域学研究』第49巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

EM Editorメンバーの交代について報告があった。

氷鮑企画担当理事より編集委員会規定の変更

について提案があった。

氷鮑企画担当理事より Asia-Pacific Journal of Regional Science の編集状況について報告があった。

5) 第 10 回(2019 年度)日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について

水野谷総務担当常任理事より, 日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について報告があった。

6) 日本経済学会連合 2019 年度第 1 回評議委員会議事録

・2019 年度補助事業第 2 次募集

鐘ヶ江理事より, 2019 年度補助事業第 2 次募集について説明があった。

7) RSAI の動向

木南理事より,RSAI の動向について報告があった。

8) PRSCO の動向

洪澤理事より,PRSCO の動向について報告があった。

9) その他

特になし

以上

V. 委員会報告

1. 名誉会員推薦委員会報告

令和元年度 日本地域学会第 1 回名誉会員推薦委員会

日時: 令和元年 6 月 16 日(日)10:00-10:30

場所: 学術総合センター 1 階特別会議室 102・103

出席者: 臼井, 櫻井, 洪澤, 水野谷, 氷鮑の各委員 以上理事 5 名出席; 小川, 野崎, 黛, 森岡, の各幹事; オブザーバーとして酒井顧問; 川本事務局秘書

議題

1. 名誉会員候補者について

臼井名誉会員推薦委員会委員長より, 多和田会員を 36 代, 氷鮑会員を 37 代, 臼井会員を 38 代名誉会員として今年度総会に発議することが報告された。氷鮑会員より近藤光男会員は名誉会員規程第 3 条第 1 号の要件を満たすので, 名誉会員に推薦したい旨提案され, 39 代名誉会員として今年度総会に発議

することを理事会に提案することが決定された。

2. その他

特になし

以上

2. 学会賞選考委員会

学会賞選考委員会 (委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では, 慎重な審議のうえ下記の会員の方々に 2019 年度(第 28 回)日本地域学会学会賞を授与する事を決定しましたので報告致します。なお, 授与式は本年度の総会で執り行われます。

功績賞:

細江守紀(九州大学名誉教授)博士(経済学)

論文賞:

該当なし

奨励賞:

該当なし

著作賞:

曾根秀一(静岡文化芸術大学文化政策学部准教授)博士(経営学) 著

『老舗企業の存続メカニズム 宮大工企業のビジネスシステム』

城月雅大(名古屋外国語大学現代国際学部准教授)博士(政策科学) 編著

『まちづくり心理学』

博士論文賞:

吉田真悟(東京大学大学院)

『都市近郊農業経営における多角化と持続的経営発展-日英を対象とした経営戦略的接近-』

鈴木雅智(東京大学空間情報科学研究センター)
『 Shrinking Housing Market and Long-Term
Vacancy:A Synthesis (住宅市場の縮小に伴う長期
放置空き家の出現)』

修士論文賞(熊田禎宣賞):

中村恵美(東京大学大学院)
『東京都心部のフードデザート問題 ~港区麻布・
高輪エリアにおける食料品店への経済的アクセス
困難性に着目して』

H30 最優秀発表賞(第 11 回):

坂本大貴(豊橋技術科学大学大学院工学研究科
(博士前期課程))
『流域水害の経済被害と復旧プロセスに関するシミュレーション分析 ~豊川流域を対象として~ 』

以上

3. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第 62 回 機関誌編集委員会
日時:平成 31 年 4 月 20 日(日)11:00-12:00
場所:学術総合センター 202・203 会議室
出席者:浅見,秋本,石橋,鐘ヶ江,木南(章),木南(莉),酒井,佐々木,渋澤,鈴木,高橋,多和田,徳永,氷鮑,細江,松本,水野谷,三友,森岡;オブザーバとして小川,内藤,野崎(乃),森岡の各幹事;川本事務局秘書
議題

- 『地域学研究』第 49 巻掲載候補論文の選考
多和田委員長よりレフェリー評価にもとづく第 49 巻の掲載候補論文の選考状況について報告があった。
- Asia-Pacific Journal of Regional Science について
氷鮑企画担当理事及び平地様(Springer 社)より, APJRS の編集及び出版状況等について報告があった。また, Springer Japan の APJRS 編集担当が平地氏から長谷部氏, 斎藤氏に変更することが報告された。引用件数増加方策について検討を進めるこ

とが氷鮑企画担当理事から提案され,これを諒承。

3. その他

地域学研究 Editorial Manager (EM)の Editor メンバーの再編成について多和田委員長から提案がなされ,これを諒承。

以上

日本地域学会 第 63 回 機関誌編集委員会

日時:令和元年 6 月 16 日(日) 11:00-11:50

場所:学術総合センター 1 階特別会議室 102・103

出席者:石橋,木南(章),鐘ヶ江,木南(莉),酒井,櫻井,佐々木,渋澤,鈴木,高橋,徳永,戸田,氷鮑,水野谷,吉田の各理事(ただし,浅見,内田,松本,三友,柳原各理事より委任状付託;以上理事 20 名出席);小川,野崎(乃),黛,森岡の各幹事;川本事務局秘書

議題

- 「地域学研究」第 49 巻掲載候補論文の選考・編集状況について
木南章副委員長(議長代理)及び水野谷理事より,査読結果に基づく「地域学研究」第 49 巻掲載候補論文の選考・編集状況について報告があり,これを諒承。各号への掲載論文を決定した。
- 「地域学研究」Editor の一部入れ替えについて
多和田委員長より提出された Editorial Manager (EM)の Editor メンバーの変更案について審議を行い,案の一部を修正の上,メンバーの変更を決定した。また,次回の委員再編の際に Editorial Manager (EM)の Editor メンバーと機関誌編集委員会のメンバーを合致させることが提案され,これを諒承。その他,副編集委員長の役割の明確化及び EM ハンドリングの迅速化についての提案がなされ,これを諒承。
- APJRS 関連について
氷鮑企画担当理事より APJRS 編集状況についての説明があり,これを諒承。併せてより多くの投稿の促進と機関購読についての依頼があり,これを諒承。
- その他
特になし。

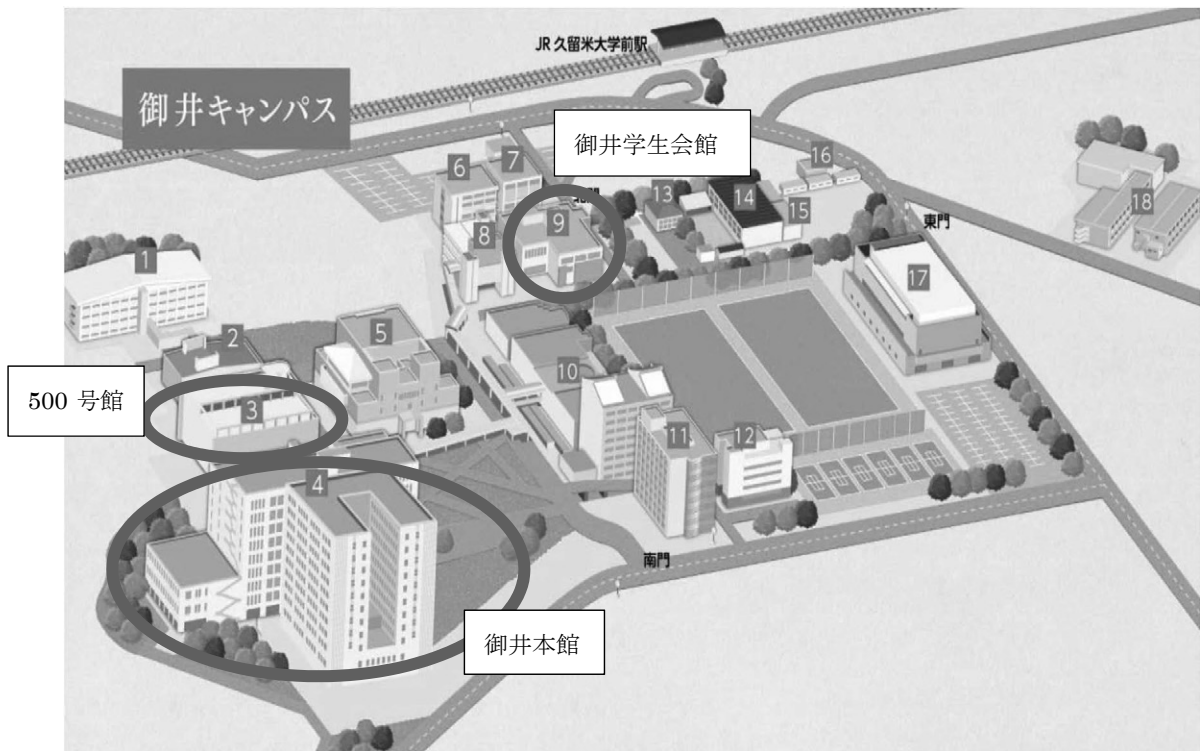
以上

第 56 回年次大会準備委員会からのお知らせ

会場案内

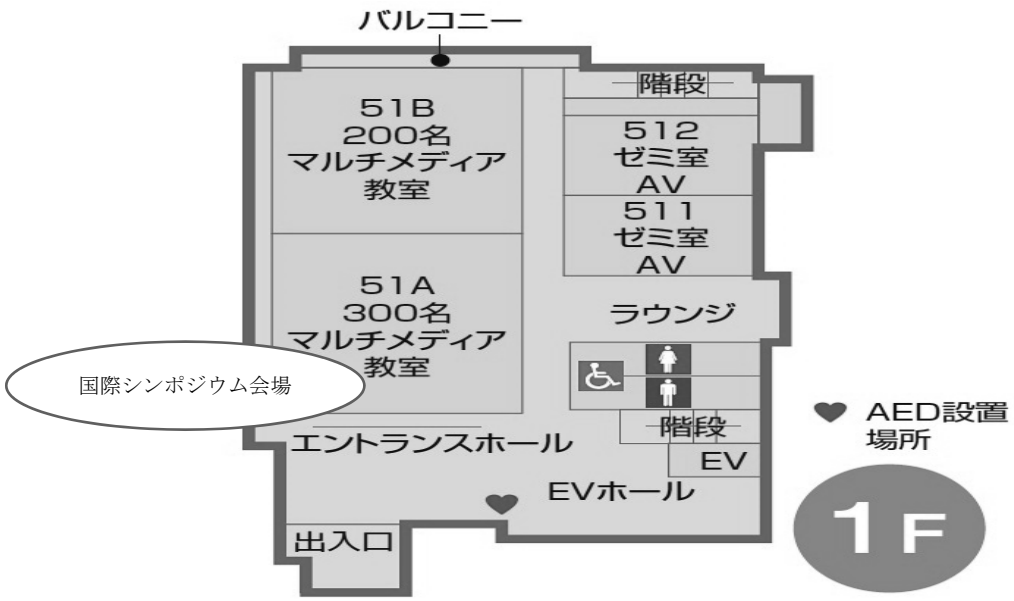
久留米大学御井キャンパス

- アクセス：JR九大本線「久留米大学駅前」下車，徒歩5分
西鉄バス「朝妻」バス停下車，徒歩5分



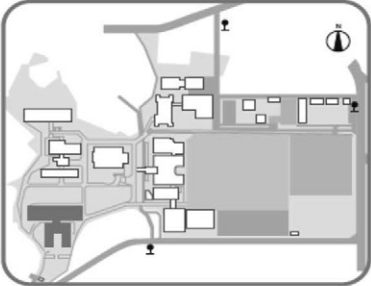
- ③ 500号館 国際シンポジウム (9月13日)
- ④ 御井本館 セッション (9月13～15日), 理事会 (9月13日)
- ⑨ 御井学生会館 懇親会 (9月14日)

500号館



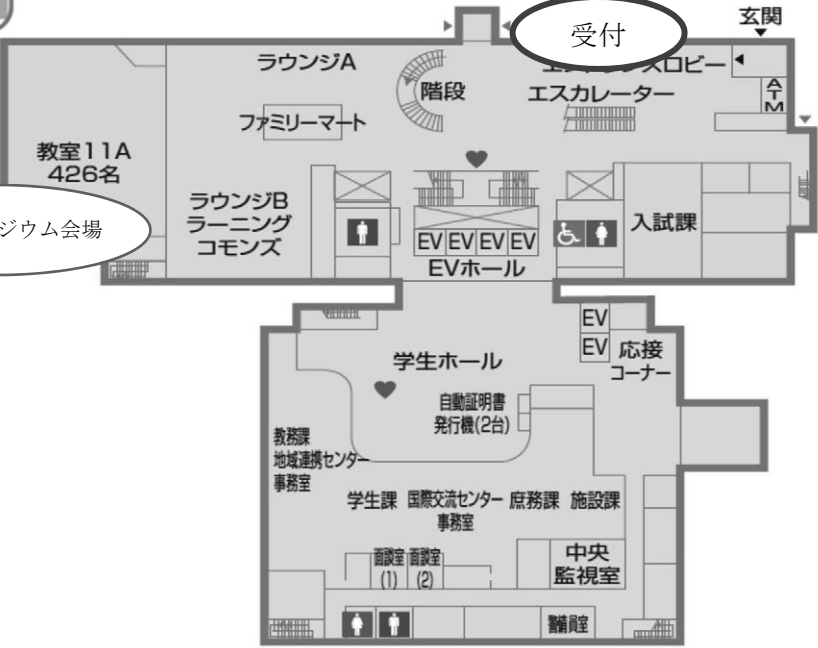
教室棟配置図

御井本館

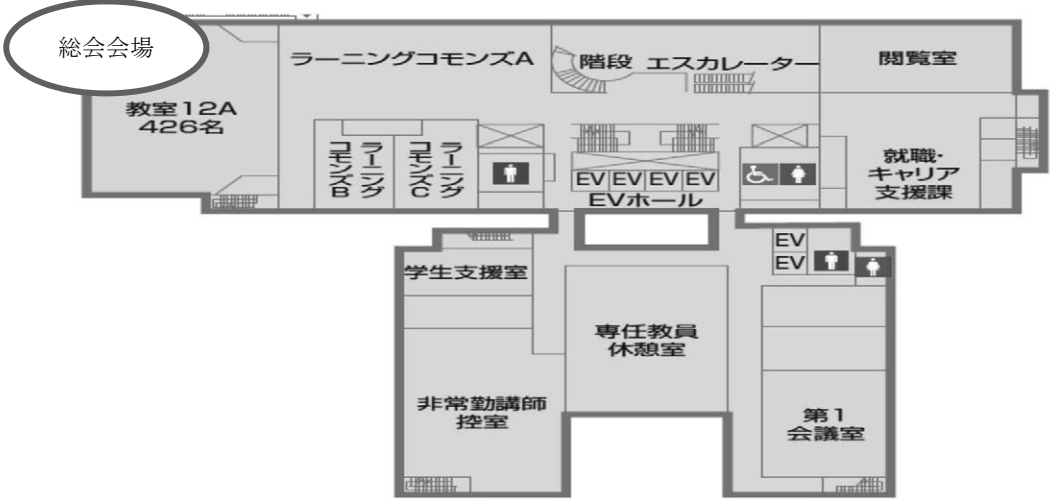


1F

♥ AED
公開シンポジウム会場

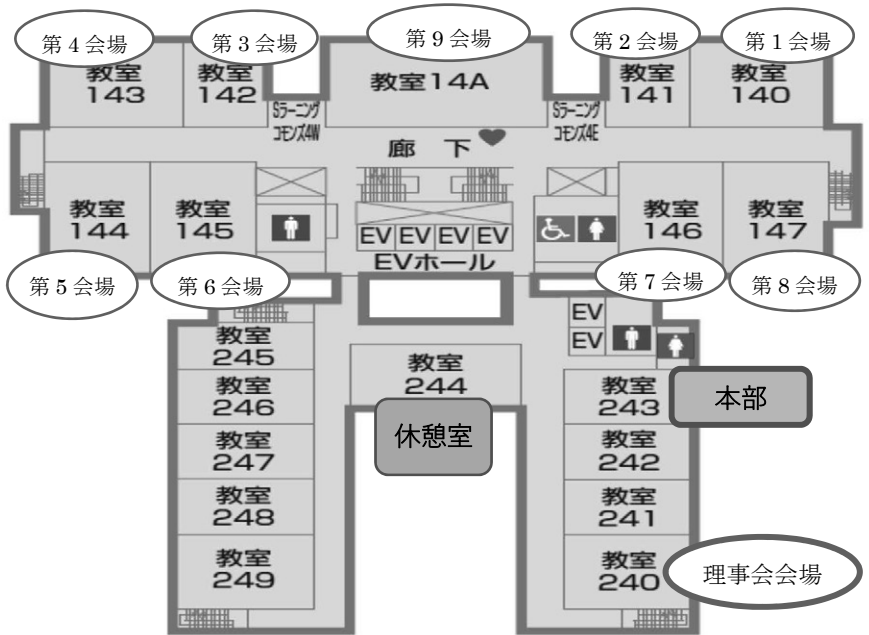


2F

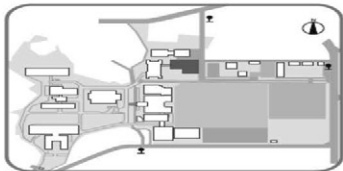


4F

♥ AED設置場所



御井学生会館



1F

♥ AED設置場所



2F



『地域学研究』バックナンバー/ 定期講読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系水野谷研究室
〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel +81-29-853-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

日本地域学会機関誌の定期講読を申込ます (8,000 円/ 年)。 (PRINT ISSN: 0287-6256)

下記のとおり、日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

年 月 日 氏名:

印

所属:

住所:

電話, fax:

E-mail:

記念事業セット販売				
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-48巻)』			580,000円	
セミセット:『地域学研究(第1-48巻)』			550,000円	
			小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)				
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円
『地域学研究』(第1-19巻)				
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円
第19巻 9,400円				
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2				
第20巻no.1 9,000円		第20巻no.2 3,500円		第21巻no.1 10,000円
第21巻no.2 3,500円		第22巻no.1 10,000円		第22巻no.2 3,500円
第23巻no.1 10,000円		第23巻no.2 3,500円		第24巻no.1 10,000円
第24巻no.2 3,500円		第25巻no.1 10,000円		第25巻no.2 3,500円
第26巻no.1 10,000円		第26巻no.2 3,500円		第27巻no.1 10,000円
第27巻no.2 3,500円		第28巻no.1 10,000円		第28巻no.2 3,500円
『地域学研究』(第29巻-)no.1,no.2,no.3				
第29巻no.1 7,000円		第29巻no.2 3,500円		第29巻no.3 7,000円
第30巻no.1 7,000円		第30巻no.2 3,500円		第30巻no.3 7,000円
第31巻no.1 7,000円		第31巻no.2 3,500円		第31巻no.3 7,000円
第32巻no.1 7,000円		第32巻no.2 3,500円		第32巻no.3 7,000円
第33巻no.1 7,000円		第33巻no.2 3,500円		第33巻no.3 7,000円
第34巻no.1 7,000円		第34巻no.2 3,500円		第34巻no.3 7,000円
『地域学研究』(第35巻-)1ボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊				
第35巻no.1	第35巻no.2	第35巻no.3	第35巻no.4	
第36巻no.1	第36巻no.2	第36巻no.3	第36巻no.4	
第37巻no.1	第37巻no.2	第37巻no.3	第37巻no.4	
第38巻no.1	第38巻no.2	第38巻no.3	第38巻no.4	
第39巻no.1	第39巻no.2	第39巻no.3	第39巻no.4	
第40巻no.1	第40巻no.2	第40巻no.3	第40巻no.4	
第41巻no.1	第41巻no.2	第41巻no.3	第41巻no.4	
第42巻no.1	第42巻no.2	第42巻no.3	第42巻no.4	
第43巻no.1	第43巻no.2	第43巻no.3	第43巻no.4	
第44巻no.1	第44巻no.2	第44巻no.3	第44巻no.4	
第45巻no.1	第45巻no.2	第45巻no.3	第45巻no.4	
第46巻no.1	第46巻no.2	第46巻no.3	第46巻no.4	
『地域学研究』(第47巻-)1ボリューム2冊一括販売 8,000円; 6,000円/冊				
第47巻no.1	第47巻no.2	第48巻no.1	第48巻no.2	

※第48巻以降セット販売の場合、第47巻までのセット価格+第48巻以降1巻当たり30%割引価格となります

購入総額合計 _____ 円

※ 申込該当箇所には○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は、氏名、所属に見積り、納品、請求書宛名機関名等を記入、責任者押印 以上

平成 29 年 12 月 17 日改定